

ペンギン

水族館で見るペンギンくわ
しくは知っていますか？

ペンギンの生息地

南極にしかいないと思われがちなペンギンですが、実は世界には 18 種類ものペンギンがいて、極寒の南極大陸から赤道直下のガラパゴス諸島まで、南半球に広く生息しています。南極大陸とその周辺の亜南極の島々には 9 種類*、他の 9 種類** はそれ以外の場所にいます。

ペンギンの裏

ペンギンの体の仕

短いと思った？



お腹からつきだしたペンギンの足は短く見えます。でも骨のつき方をよく見ると、実は長い足の骨が胴体の中にかくれていることがわかります。人間でいうと、ひざをまげておしりを下げて歩いているような状態です。ペンギンは、泳ぐときに水の抵抗を受けないう、体のでっぱりをできるだけ小さくしているのだと考えられます。

歩くことに適した太くて丈夫な足。大きなツメは岩や氷をよじ登るときに役立ちます。足やフリッパーなどの血管は発達していて、体内で温められた血液が流れる動脈に、指先で冷やされた血液の流れる静脈がからみついています。冷たい静脈は動脈に温められて体内に流れこみ、体温を一定に保つのに役立ちます。

ペンギンは魚をとる時、飛び込むところに仲間を落としてシャチがいないか確かめるのです。